



消防団の組織概要

令和6年4月1日現在

都道府県名	奈良県	所在地	〒630-8145		
市町村名	奈良市		奈良県奈良市八条五丁目404番地の1		
消防団事務所管	奈良市消防局 総務課	電話番号(直通)	0742-35-1199	FAX	0742-33-8436
消防団名	奈良市消防団	メールアドレス	shoubou-soumu@city.nara.lg.jp		

組織	分団数	24	分団	ホームページURL	https://www.city.nara.lg.jp/site/shobo-kyukyu/
	うち機能別分団数	2	分団	SNSアカウント	Twitter
	方面隊数	4	隊		アカウント名: 奈良市消防局 @naracity_fire
	部数	0	部	消防団活動事例・PR等	
	班数	0	班		
団員数	条例定数	1,230	人	<p>奈良市消防団は、現在24分団985名(実員985名うち男性948名、女性37名)で構成されており、火災予防等の広報活動はもとより、消防団を中核とした地域防災力の強化に取り組んでいます。</p> <p>具体的には、大規模な災害が発生した際には、市町村や常備消防の対応だけでは限界があり、消防団においては常備消防活動支援や自主防災組織活動支援が、自主防災防犯組織においては自助による活動や避難所運営等に従事するなど、両者が総力を挙げて災害に対応していく必要があります。自主防災防犯組織と消防団は互いが各地域の状況をよく知る地域防災の両輪であり、災害発生時に連携することにより、住民の避難誘導、負傷者の搬送、避難所運営等においてスムーズな活動が可能となり、地域防災力の強化・向上が図れることから、奈良市の自主防災防犯協議会と奈良市消防団が連携して、避難所開設・運営を行う「動画」及び「テキスト」を作成し、避難所運営に係る研修等で活用し、効率的に市内全域で統一された避難所開設・運営ができるよう取り組んでおります。</p> <p>また、次世代の消防団を担う消防団員の確保を目的として、大学生等、若者に対し、救命講習の指導や防火広報及び避難所での支援等、特定の任務に限定した機能別団員で構成する学生消防分団を令和2年4月1日に発足しました。さらに、令和5年4月1日には、消防団員の減少や仕事の都合で帰宅に時間を要すなどの理由から、主に昼間の地域防災力低下を防ぐため、災害時のみ活動をしていただける機能別団員として、消防団OB等により構成される地域支援消防分団を創設。また、災害が多発化・複雑化していることから、広範囲の火災などドローンによる上空からの災害情報をいち早く収集することで、常備消防と連携、必要資機材の準備と災害対策をとり、災害の早期収束を図る消防団情報収集部隊を令和5年4月1日に運用開始しました。</p>	
	実員数	985	人		
	男性団員数	948	人		
	女性団員数	37	人		
	基本団員数	928	人		
	大規模災害団員数	0	人		
	その他の機能別団員数	57	人		
職業構成別団員数	国家公務員	2	人		
	地方公務員	62	人		
	都道府県職員	38	人		
	市区町村等職員	24	人		
	特殊法人等公務員に準ずる職員	44	人		
	農協職員	27	人		
	日本郵政グループ	14	人		
その他	863	人			
ポンプ	普通消防ポンプ自動車	1	台		
	水槽付消防ポンプ自動車	0	台		
	小型動力ポンプ付積載車	95	台		
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	8	台		
	手引き動力ポンプ	2	台		
年額報酬	報酬額(階級:団員)	年額	50,000	円	
	(参考)交付税単価(階級:団員)	年額	36,500	円	
出動報酬	火災	8,000	円		
	風水害等の災害	8,000	円		

※1:「消防団の組織概要等に関する調査」による

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和6年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。